



笠原小学校創立150周年

支えてきた150年 未来へ向かって200年

浅羽学園 袋井市立笠原小学校 学校だより 令和5年10月16日

10月会礼の話

10月も半ばを迎えました。地域のお祭りも終わり、今週の土曜日はいよいよ運動会です。今年の運動会は、笠原小の150周年をお祝いする特別な運動会です。ここ何年かは、午前中だけで終わっていましたが、今年は種目の数も増え、保護者の方と一緒に弁当を食べる時間も予定されています。とても楽しみです。

さて、小学校では運動会、中学校や高校では体育祭といわれ、校長先生の住んでいる地区では地区の運動会も開かれ、子供から大人まで、多くの人に参加します。このように、とっても楽しい運動会ですが、そもそも運動会とはどのようなものなのでしょうか？いつ頃から行われるようになったのでしょうか？少し調べてみました。

運動会が日本で初めて行われたのは、明治7年のことだそうです。150周年の笠原小学校ができたのが明治6年なので、今から149年前になります。東京にあった、海軍兵学校という学校で行われた「競闘遊戯会（きそいあそびかい）」が日本で初めての運動会だといわれています。そこでは、今も行われている徒競走や玉入れ、二人三脚などの種目が行われたそうです。また、目隠し競争や卵拾い競争など、なんだか楽しそうな種目もありました。その他にも高跳びや幅跳びなど、体育の授業で学習する内容も種目として行われていました。逆に、ダンスなどの表現種目は行われていなかったようです。今の運動会とはずいぶん違いますね。



では、海外に目を向けるとどうでしょうか。海外では、日本のような運動会を行っている国はほとんどありません。赤と白に分かれて勝ち負けを決めたり、団体種目を行ったりする運動会は日本独特のものようです。運動会は英語で「sports day」か「field day」と言うそうです。アメリカの「sports day」は、日本の運動会とはかなり違って、学校にもよりますが、運動会らしきものはまったくない学校もあれば、参加したい人だけ参加して陸上競技のようなことをやる学校もあるそうです。イギリスにも「sports day」はありますが、イギリスでも陸上競技のようなことを簡単にやるだけでおしまいようです。

このように、世界でも珍しい日本の運動会ですが、笠原小学校では、次のようなめあてで行われます。

- 日ごろの体育の授業の成果を発揮し、運動する楽しさやよさを感じる。
- 協力して活動する中で、自分のよさ・頑張り・感覚を見付けたり、友達と力を合わせることの喜びを味わったりする。
- 150周年記念運動会として、学校と保護者の皆さん、地域の皆さんと一緒に創りあげる運動会にする。



さあ、明日は総練習、そして土曜日が本番です。暑い中頑張って練習してきた成果を発揮して、素晴らしい運動会にしていきたいと思います。皆さん一人一人が輝く姿を楽しみにしています。